

『世界脳卒中デー』における臨江閣のライトアップについて

10月29日は「世界脳卒中デー」（※1）です。

群馬県では、これに合わせ、脳卒中に関する理解を高め、適切な予防と治療、リハビリテーションを喚起することを目的として、臨江閣（前橋市）をシンボルカラー「インディゴブルー（※2）」でライトアップします。

脳卒中は、生活習慣の見直しや高血圧等の基礎疾患の適切な治療により、発症の危険性を減らすことができます。この機会に脳卒中について考えてみませんか。

1 日時

令和7年10月27日（月）～31日（金）
午後5時30分から午後11時まで

2 場所

臨江閣及び日本庭園（前橋市大手町三丁目15番）

3 他地域におけるライトアップ予定施設（参考）

<https://www.jsa-web.org/citizen/4855.html>
（公益社団法人日本脳卒中協会ホームページ）

4 共催

日本脳卒中協会群馬県支部
群馬県脳卒中救急医療ネットワーク



※1：世界脳卒中機構(WSO: World Stroke Organization)の結成を記念し、毎年10月29日は「世界脳卒中デー」とされています。また、日本脳卒中協会では、脳卒中に関する知識を広め、一般市民の脳卒中に関する理解を高めることを目的に、毎年10月を「脳卒中月間」と定め、脳卒中に関する啓発活動を実施しています。

※2：実際には、ブルー単色でのライトアップとなります。